



1. 都市づくりの課題とまちづくりの方針(ターゲット)、誘導方針(ストーリー)の整理

	【現状】	【都市づくりの課題】	【まちづくりの方針】	【誘導方針(ストーリー)】
都市機能	<ul style="list-style-type: none"> 用途地域外の既存集落等に居住が分散している。 安中市役所や安中駅周辺の市中心部における人口密度が40人/haを下回っている 医療施設、商業施設、福祉施設は、500m 徒歩圏外のエリアが存在する。(原市(郷原付近)・西横野・秋間、東横野・岩野谷・細野・臼井等) 市民意識調査結果(都市MP)より、「買い物等の日常的な利便性の向上」に関するニーズが高い 安中榛名駅周辺や板鼻の既成市街地や用途地域外の集落地において高齢化率が高い 	<ul style="list-style-type: none"> 市中心部における人口密度が低く、魅力や求心力の向上に向けた取組が必要 安中市役所及び安中駅周辺でのまちのまとまりの形成・維持が必要であり、商業・業務機能の拡充が求められている 高齢化率が高い西松井田駅周辺の一部や安中榛名駅周辺は、日常生活に必要な商業施設(スーパー、コンビニ)が徒歩圏内に立地していないため、生活利便性の確保が必要 	<p>①拠点機能の集積や生活サービス機能の維持・向上による魅力のあるまち</p>	<p>高次の都市機能や生活サービス機能の誘導を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> 都市拠点である安中市役所や安中駅周辺は、市の中心的な拠点として、公共施設や高次の都市機能の誘導、商業・業務機能の向上、市役所庁舎の建替え、公有地の利活用等により、都市の魅力や求心力の向上を図ります。 また、松井田仲町交差点・西松井田駅周辺を地域拠点、原市交差点・磯部駅周辺及び安中榛名駅周辺は地域生活を支える生活拠点として、日常生活に必要な生活サービス機能の誘導による生活利便性の維持・向上を図ります。
居住	<ul style="list-style-type: none"> 総人口は、平成12(2000)年の64,893人をピークに減少し、令和2年時点で54,907人である 人口推計では、今後一貫して減少を続けていくと見込まれる 年齢別人口は、老年人口が19,753人と総人口の35%を占める 安中榛名駅周辺や板鼻の既成市街地や用途地域外の集落地において高齢化率が高い 	<ul style="list-style-type: none"> 住宅市街地の拡散や低密な市街地の連担につながらないよう、まちのまとまりの形成・維持が必要 高齢化率の高い安中榛名駅周辺では、商業施設等が徒歩圏内に立地していないため、生活利便性の確保が必要 安中榛名駅南側のみのりが丘における人口減少が顕著であり、空き家・空き地の更なる増加、住環境の悪化への対応が必要 	<p>②生活サービス機能や地域コミュニティが維持された暮らし続けられるまち</p>	<p>まちのまとまりを維持・形成するための緩やかな誘導を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> 都市機能や生活サービス機能が集積し、公共交通による利便性が高いエリアについて、移住・住み替えの受け皿としての空き家や未利用地の活用検討、ライフスタイルの変化に伴う市民ニーズに対応した住環境の確保などに取組み、まちのまとまりの維持・形成を図り、人口密度を維持することで、生活サービスや地域コミュニティが維持された暮らし続けられるまちを目指します。
公共交通	<ul style="list-style-type: none"> バスネットワークは、安中駅や安中市役所を乗り継ぎ拠点として、安中駅～西松井田駅までを結ぶ東西軸、安中榛名駅と安中駅・安中市役所、磯部駅・碓氷病院を結ぶ南北軸で構成されている。 公共交通利用圏域(バス停300m圏及び鉄道駅1km圏)に含まれない地区が存在する。 市民の移動手段は自家用車が78.0%であり、自家用車に依存している。 	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通の維持が必要 公共交通利便性の向上が求められる 一定程度人口集積があるエリアにおいて公共交通空白・不便地域の解消が必要 高齢化の更なる進行を見据えた自家用車から公共交通への利用転換が必要 	<p>③公共交通が利用しやすく、自動車に頼らずとも誰もが心地よく生活できるまち</p>	<p>都市拠点と地域拠点又は生活拠点を結び、地域ニーズに合った公共交通ネットワークを維持・充実する</p> <ul style="list-style-type: none"> 拠点間を結ぶ公共交通機能軸の維持・充実を図ります。 拠点間を結ぶ路線バス・乗合タクシー等について、交通事業者等と連携を図りながら、公共交通ネットワークの維持や公共交通空白・不便地域の解消、地域ニーズに合った運行形態への見直し、交通結節点の形成などに取組み、公共交通が利用しやすく、誰もが心地よく生活できるまちを目指します。また、鉄道事業者等と連携し、駅周辺の利便性の向上や新駅の整備の検討、鉄道利用者数や運行本数の維持を図ります。 本市と周辺市間を結ぶ公共交通軸の維持・充実を図り、通勤、通学、通院、娯楽や観光等のための本市と周辺市間の移動の利便性向上を図ります。
防災	<ul style="list-style-type: none"> (洪水)浸水ハザードは沿川に指定されており、碓氷川右岸の住宅地や安中駅周辺、岩井・板鼻が主にハザード区域に含まれている (土砂)土砂災害警戒区域及び特別警戒区域に含まれる建物は、市全体の7.0%(3,425棟)であり、特別警戒区域に含まれる建物は0.3%(132棟)である。松井田駅北側や碓氷川沿いの一部で特別警戒区域にかかる建物が立地 	<ul style="list-style-type: none"> 洪水浸水や土砂災害等による災害リスクの低減と回避が必要 災害リスクの高いエリアの一部における避難場所の確保が必要 	<p>④誰もが安全で安心して暮らし続けられるまち</p>	<p>災害被害の低減・回避 ※「4. 災害被害の低減・回避の施策・取組」を参照</p>

誘導区域・誘導施設・誘導施策を設定

【県計画】県央広域都市計画圏 都市計画区域の整備、開発及び保全の方針

【調査】統計・地理情報システム等

【市民】令和5年度まちづくりに関する意向調査

【市計画】第3次安中市総合計画、都市計画マスタープラン、安中市公共施設等総合管理計画等

【関連計画】安中市国土強靱化地域計画、安中市地域防災計画等

防災指針に位置付ける